



平成30年6月28日

各位

会社名 株式会社バイク王&カンパニー  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 石川 秋彦  
 (コード番号 3377 東証二部)

問合せ先 執行役員 コーポレート部門担当 竹内 和也  
 (TEL. 03-6803-8855)

### 平成30年11月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年1月10日に公表した平成30年11月期第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 平成30年11月期 第2四半期累計期間 業績予想数値の修正

(平成29年12月1日～平成30年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成30年1月10日)	百万円 9,000	百万円 3	百万円 60	百万円 20	円 銭 1.43
今回修正予想 (B)	9,696	△27	37	10	0.76
増減額 (B-A)	696	△30	△22	△9	
増減率 (%)	7.7	-	△37.2	△46.9	
(ご参考) 前期実績 (平成29年11月期 第2四半期)	8,634	△211	△159	△202	△14.49

#### 修正の理由

当社は、平成30年11月期において、会社全体の販売台数を前年同期並みに維持したうえでリテール販売台数の比率を高めることにより利益を増加させることを目標としており、「リテール販売の強化」と「リテール販売強化のための仕入の充実」を基本戦略として事業を展開しております。

この結果、リテール販売台数の増加および高収益車輛の仕入構成割合の増加により平均売上単価(一台当たりの売上高)は前年同期を上回りました。加えて、仕入台数が増加したことにより売上高は前年同期を上回る見込みとなりました。同様の理由により、売上高は前回予想を上回る見込みとなりました。

利益面につきましては、売上高の増加にともない、営業利益、経常利益および四半期純利益はいずれも前年同期を上回る見込みとなり、経常利益および四半期純利益は黒字に転じる見込みとなりました。しかしながら、リテール販売に向けた仕入台数の確保の過程で仕入価格が若干上昇し、原価率が前回予想を上回ったことを要因として売上総利益が前回予想を下回り、これにともない営業利益、経常利益および四半期純利益は前回予想を下回る見込みとなりました。

## 2. その他

通期業績予想につきましては、仕入が堅調に推移していることに加え、販売費及び一般管理費の抑制が見込まれること等を踏まえ、前回予想の修正は行いません。

また、配当につきましても予想の修正は行わないこととし、期末2円00銭（年間4円00銭）を予定しております。

(注)上記の予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上